

# 平成25年度 第1回 砂川市地域公共交通会議

平成25年4月30日  
午後2時～  
砂川市役所大会議室

1. 開 会

2. 挨拶

3. 報告事項

- (1) 砂川市地域公共交通会議委員の変更について
- (2) 砂川市地域公共交通会議設置要綱の一部改正について
- (3) 平成24年度砂川市地域公共交通会議予算の流用について

4. 協議事項

- (1) 平成25年度地域公共交通調査事業の実施について
- (2) 平成25年度砂川市地域公共交通会議予算(案)について

5. その他

6. 閉 会

## 【資料】

- ・ 砂川市地域公共交通会議設置要綱 資料1
- ・ 住民ニーズ把握調査実施地区図 資料2
- ・ 公共通路線図 資料3
- ・ 運行形態・運行時間について 資料4
- ・ 砂川市地域公共交通会議スケジュール 資料5

砂川市地域公共交通会議委員の変更について

	所 属	役 職	氏 名
旧	北海道開発局札幌開発建設部	滝川道路事務所副所長	小田 正則
新	北海道開発局札幌開発建設部	滝川道路事務所所長	山崎 達哉

## 報告事項（２）

### 砂川市地域公共交通会議設置要綱の一部改正について

平成 25 年 4 月 1 日付け砂川市機構の変更に伴い、要綱第 7 条を次のとおり改正しました。

#### 【改正前】

（事務局）

第 7 条 交通会議の業務を処理するため、総務部広報広聴課に事務局を置く。

2 事務局には、事務局長を置き、総務部広報広聴課長をもって充てる。

#### 【改正後】

（事務局）

第 7 条 交通会議の業務を処理するため、総務部政策調整課に事務局を置く。

2 事務局には、事務局長を置き、総務部政策調整課長をもって充てる。

#### 附 則

（施行期日）

3 この訓令は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

報告事項（ 3 ）

平成 2 4 年度歳出予算の流用について

平成 2 4 年度歳出予算において、1 款 1 項 1 目（会議費）から、1 款 2 項 1 目（事務費）へ 1,220 円を流用しましたので、砂川市地域公共交通会議財務規程第 5 条の規定により報告します。

【歳出予算内訳】

（単位：円）

款	項	目	当初予算額	流用額	現予算額	説明
1	運営費		118,000	0	118,000	
	1	会議費	88,000	1,220	86,780	
		1 会議費	88,000	1,220	86,780	
	2	事務費	30,000	1,220	31,220	振込手数料の不足による
		1 事務費	30,000	1,220	31,220	
2	事業費		0	0	0	
	1	事業費	0	0	0	
		1 事業費	0	0	0	
3	返還金		0	0	0	
	1	返還金	0	0	0	
		1 返還金	0	0	0	
4	予備費		0	0	0	
	1	予備費	0	0	0	
		1 予備費	0	0	0	
	合	計	118,000	0	118,000	

## 平成２５年度地域公共交通調査事業の実施について

### １．目的

新たな公共交通の必要性等を含めた、最適な公共交通のあり方を示した砂川市生活交通ネットワーク計画を策定するため、調査事業を実施するものである。

### ２．補助事業の活用

国の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱」に基づく補助事業を活用する。

### ３．調査事業の内容

#### （１）現況交通実態調査

##### 地域の人口・世帯状況の整理

交通弱者となる可能性の高い高齢者の住んでいる場所や高齢者数、世帯状況などを調査し、新たな公共交通を求める潜在需要を把握する。

##### 路線バス運行状況の把握

市内路線バスの路線ごとの利用人数および収支状況等について交通事業者へのヒアリングや情報提供を受け、路線バスの運行状況を把握する。

##### バス乗降調査

市内を運行する路線バスの利用者に対し、アンケート調査及び乗降人数調査を実施し、現状の路線バスの利用実態や問題箇所などを明らかにする。

調査対象：市内で運行する６路線（滝川美唄線、滝芦線、滝川奈井江線、焼山線、上砂川線、歌志内線）の全便を対象

調査期間：平日に１日間

調査項目：年齢、外出先、外出目的、外出目的地への外出頻度、新たな公共交通の利用意向、各バス停の乗降人数など

調査方法：乗客全員を対象に筆記用具の要らない穴あけ式調査票を配布・回収。乗降人数は、調査員が目視で記録。

##### 実証調査利用者アンケート調査

実証調査時に利用者に対しアンケート調査を実施し、既存交通機関への影響や新たな公共交通のニーズを把握する。

調査内容：利用状況（曜日・時間ごとの利用人数、乗降場所、など）、既存交通機関の利用状況など

調査方法：実証調査の車両に、アンケート用紙、返信用封筒、回収箱を設置。利用人数は乗務員が記録。

#### （２）住民ニーズ把握調査

新たな公共交通の必要性などを検討するにあたり、市民の具体的な移動状況、新たな公共交通の利用意向、支払意思額などの住民ニーズを把握するためアンケート調査を実施する。

調査対象：昨年実施した市民アンケート調査により利用意向の高い地区を対象に約１,５００世帯を無作為抽出。資料２

調査内容：住所、性別、年齢、職業、買物・通院の交通手段・回数・曜日・外出時間帯・滞在時間帯、公共交通の利用意向・支払意思額など

### (3) 実証調査運行

砂川市に合った新たな公共交通の導入を検討するにあたり、市内の交通不便地域を中心に公共交通の利用実態などを把握するため、コミュニティバスや乗合タクシーの実証調査運行を実施する。

調査予定時期

- ・平成25年9月、平成26年2月

運行日

- ・全日運行(土日、祝日ダイヤ設定)

運行ルート 資料3

既存路線区域を除いた市内全域とし、南北地区それぞれ2ルート、合計4ルートとする。

運行形態

<9月>

- ・南地区 コミュニティバスによる定時定路線型運行
- ・北地区 乗合タクシー(ジャンボ)によるデマンド型運行

<2月>

- ・9月の利用状況等を勘案し運行形態を設定

運行車両

- ・コミュニティバス 定員29人以下のマイクロバス
- ・乗合タクシー 9人乗りジャンボタクシー  
予約状況によって4人乗りセダン型を増便

運行時間

- ・平日 各ルートそれぞれ午前2便、午後2便(往復)
  - ・土日祝日 各ルートそれぞれ午前1便、午後1便(往復)
- 運行形態・運行時間についての補足は、資料4を参照

乗降形態

- ・コミュニティバス 公共施設、町内会館、商店等目立つ施設を停留所として設定して乗降する
- ・乗合タクシー 自宅前を基本とする。ただし雪道等により通行不可能な場合は近隣の町内会館、商店等を指定する
- ・まちなか乗降地は、「駅」、「市立病院」、「公民館」、「ふれあいセンター」とする

利用対象者

- ・一人で乗降が可能な方  
(介護が必要な方は介護者同伴、小学生未満は保護者同伴)

運賃

1回乗車につき

- ・コミュニティバス 大人200円、小人(小学生)100円
- ・乗合タクシー 500円

運賃は現金扱いとし、小学生未満は無料とする。

予約受付(乗合タクシー)

- ・午前の便は前日の17:00までに予約
- ・午後の便は当日の午前中までに予約

短期間の実証調査であることから事前登録は行わない。

#### **( 4 ) 生活交通ネットワーク計画素案の検討**

##### **新たな公共交通の必要性の検討**

各種調査結果などを整理し、新たな公共交通の導入の必要性などを検討するための資料を作成する。

##### **公共交通の利用促進**

既存・新規を含めた公共交通の利用促進方策の検討するための資料を作成し、また、実証調査の周知チラシを作成する。

##### **生活交通ネットワーク計画素案のとりまとめ**

会議における検討結果を踏まえ、生活交通ネットワーク計画素案をとりまとめる。

#### **4 . 調査事業の委託**

本事業は、高度な専門的知識と技術を必要とするものであるため、事業実績のある交通コンサルタント業者へ委託する。

#### **5 . スケジュール**

資料5 のとおり

協議事項（２）

平成２５年度砂川市地域公共交通会議予算(案)について

歳入

(単位：千円)

款	項	目	予算額	前年度	増 減	説明
1 負担金	1 負担金	1 負担金	10,440	118	10,322	砂川市負担金
2 補助金	1 国庫補助金	1 国庫補助金	0	0	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	0	0	
4 諸収入	1 雑入	1 雑入	0	0	0	
合計			10,440	118	10,322	

歳出

(単位：千円)

款	項	目	予算額	前年度	増 減	説明
1 運営費	1 会議費	1 会議費	454	88	366	委員報償、委員費用弁償
	2 事務費	1 事務費	89	30	59	事務用品、振込手数料
2 事業費	1 事業費	1 事業費	9,897	0	9,897	生活交通ネットワーク 計画策定調査委託
3 返還金	1 返還金	1 返還金	0	0	0	
4 予備費	1 予備費	1 予備費	0	0	0	
合計			10,440	118	10,322	